

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

| 科目名 | ナンバリング | 区分(必修・選択) | 単位数 | 履修年次 | 開講学期等 |
|--------------|---|---------------|--|---------------|-------|
| 社会心理学 | | 選択 | 2 | 2,3 | 後期 |
| 担当教員 | 研究室 | 電子メールID | オフィスアワー | | |
| 須永 範明 | 講師控室 | noriki.sunaga | Teams 授業中に対応 | | |
| 授業の目的・概要 | <p>〈目的〉福祉・医療の仕事は対人援助である。他の人からの働きかけに人は普通どのように反応するかわかっていれば、他者を援助するうえで大いに役立つであろう。本科目は、人と人との間のさまざまな影響の与えあいについて学び、自分自身の体験と結びつけて理解することを目的とする。</p> <p>〈概要〉授業では、他者から受ける影響について幅広く解説するが、まず比較的単純な現象を取り上げ、次第により複雑なものへと進む。具体的には、社会的促進・社会的抑制、他者や自分に関する認知、人間関係の形成と深化、他者を助ける行動、経済行動、幸福・健康と関連する行動等について取り上げる。</p> <p>Teamsを用いた同時双方向型授業を行なう。事前に配布する資料を活用しながらTeamsを介して解説する。質疑応答の後、理解の程度を確認する課題を行なう。課題は、提出すると即座に採点され、フィードバックされる。また、授業で取り上げたテーマについて意見や考えを交換することも行う。</p> | | | | |
| 学習上の助言 | <p>心理学の基礎知識は本科目の理解に大いに役立つ。心理学系の科目を事前に履修しておくことが望ましい。事前に配布する資料を読み授業の概要を頭に入れてから授業に参加すると、スムーズに理解できるであろう。また、毎回の授業内容を復習して理解を確かなものにしていただきたい。</p> | | | | |
| 教科書 | 教科書は指定しない。ほぼ毎回の授業で資料を配布する。 | | | | |
| 参考書 | グラフィック社会心理学 第2版/池上知子・遠藤由美/サイエンス社/2009年 | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | 関連卒業認定・学位授与方針 | |
| ① | 自分が他者から受ける影響や自分が他者に与える影響について大まかに説明できる。 | | | HSU(4) | |
| ② | 人間関係を築き、維持し、親密なものにするうえで重要な要因を述べることができる。 | | | HSU(4) | |
| ③ | 自分や他者の幸福(well-being)を高める方法をいくつか述べ、実行できる。 | | | HSU(4) | |
| ④ | | | | | |
| ⑤ | | | | | |
| ⑥ | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | |
| 回 | 学習内容等 | 授業方法 | 学習課題・学習時間(時間) | | |
| 1 | 社会心理学の心理学における位置づけと全体像を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説 | 同時双方向型授業 | 社会心理学の位置づけと概要を資料、ノートで確認する。 | 1 | |
| 2 | 【他者の存在から受ける影響】社会的促進・社会的抑制・社会的手抜きを理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 他者の存在から受ける影響に関する配付資料を精読し、3つの現象の特徴と差異を確認する。 | 4 | |
| 3 | 【集団から受ける影響】同調という現象を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 同調に関する配付資料を精読し、両者の特徴を確認する。 | 4 | |
| 4 | 【集団や権威から受ける影響】服従という現象を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 服従に関する配付資料を精読し、両者の特徴を確認する。 | 4 | |
| 5 | 【対人認知】他者の人柄等をどのように判断するのか理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 対人認知に関する資料を精読し、その特徴を確認する。 | 4 | |
| 6 | 【原因帰属】行動の原因をどのように判断するのか理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 原因帰属に関する資料を精読し、その特徴を確認する。 | 4 | |
| 7 | 【人間関係の形成と深化①】他者と知り合いになるうえで重要な要因を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 関係形成段階に関する資料を精読し、3つの要因を確認する。 | 4 | |
| 8 | 【人間関係の形成と深化②】他者と親密になるうえで重要な要因を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 関係深化段階に関する資料を精読し、3つの要因を確認する。 | 4 | |
| 9 | 【中間まとめ】ここまでの授業内容に関する論述形式の課題に取り組む。 | 同時双方向型授業 | 第1回から第8回の内容を配付資料とノートで再度確認する。 | 7 | |
| 10 | 【援助】他者を助ける行動に関わる要因を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 援助に関する配付資料を精読し、ノートを確認する。 | 4 | |
| 11 | 【災害時の心理と行動】火災や地震、洪水などの災害に襲われたときの人々の反応と適切な行動について理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 災害時の心理と行動に関する配付資料を精読し、ノートを確認する。 | 4 | |
| 12 | 【ポジティブ心理学①】幸福(well-being)に関わる要因を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 幸福に関する資料を精読し、関連する要因を確認する。 | 4 | |

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

| | | | | |
|----|---|----------|--|---|
| 13 | 【ポジティブ心理学②】幸福(well-being)を高める方法を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 幸福を高める方法に関する資料を精読し、有効な方法を確認する。 | 4 |
| 14 | 【行動経済学①】対比効果、リスクの感じ方、ゼロの魅力を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 行動経済学に関する資料を精読し、確率推定と対比効果について確認する。 | 4 |
| 15 | 【行動経済学②】感応度の通減性、予測の効果を理解する。質疑応答の後、簡単な課題と解説、意見交換 | 同時双方向型授業 | 行動経済学に関する資料を精読し、リスクの感じ方とゼロの魅力について確認する。 | 4 |
| 試 | 定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照 | | | |

達成度評価

| 総合評価割合 (%) | | 試験 | レポート | 成果発表 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|------------|-------------|----|------|------|---------|-----|-----|
| | | 60 | 20 | 0 | 0 | 20 | 100 |
| 総合力指標 | 知識・技術力 | 50 | 10 | 0 | 0 | 10 | 70 |
| | 思考・推論・創造する力 | 10 | 5 | 0 | 0 | 5 | 20 |
| | 協調性・リーダーシップ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 発表・表現伝達する力 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | コミュニケーション力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 取組みの姿勢・意欲 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 10 |
| | 問題を発見・解決する力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

評価のポイント

| 評価方法 | 行動目標 | | 評価の実施方法と注意点 | フィードバックの方法 |
|---------|------|---|--|-----------------------|
| | ① | ② | | |
| 試験 | ① | ✓ | 筆記試験を行なう。客観式の問題が数十問出題される。 | 得点分布と講評を Teams で通知する。 |
| | ② | ✓ | | |
| | ③ | ✓ | | |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| レポート | ① | ✓ | 第 9 回授業時に論述形式の課題を行なう。第 2 回から第 8 回の授業内容からテーマを選び、そのテーマについて自身の体験を例にあげて説明する。 | 評価を添えてレポートを返却する。 |
| | ② | ✓ | | |
| | ③ | | | |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| 成果発表 | ① | | | |
| | ② | | | |
| | ③ | | | |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| ポートフォリオ | ① | | | |
| | ② | | | |
| | ③ | | | |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| その他 | ① | ✓ | 毎回の授業時に、授業内容をどの程度理解したか自己確認するための課題を行なう。 | 提出後速やかに得点等が表示される。 |
| | ② | ✓ | | |
| | ③ | ✓ | | |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |

備考

Teams を用いて同時双方向型授業を行なう。通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。
今後、状況の変化によって授業内容や方法を変更し、再度シラバスを修正することがあり得る。